

令和元年度・令和2年度入学生用 カリキュラム・マップ

教育学研究科 教育実践高度化専攻

(令和元年10月21日更新)

学位		教職修士（専門職）										ディプロマ・ポリシー		
付属情報												教育実践高度化専攻		
大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000390	新学習指導要領とカリキュラム経営	2	講義	カリキュラム経営の課題解決に向けて、授業と実習との往還を踏まえ、新学習指導要領の方向に添い、理論を踏まえた高度な実践力を身に付ける。教員研修教材の作成を必要に応じて行う。新学習指導要領が提起する「社会に開かれた教育課程」の趣旨についても理解する。	◎	◎		
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000030	目指すべき学力とその評価	2	講義	PISA及び全国学力・学習状況調査における学力観と評価方法を知る 調査結果を活用して、学校の現状を把握し改善する方法を学ぶ 教科で学ぶ内容の基準について理解する	◎	◎		
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000050	授業と学習のメカニズム	2	講義	児童生徒の知識技能の獲得の特徴を理解する。 児童生徒が主体的に学びを深めるための授業の条件を理解する。 児童生徒の学習活動をメカニズムに基づいて観察評価できるようになる。	◎	◎		
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000410	授業形態の特質と選択	2	講義	・様々な授業形態を知るとともに、ある授業形態における子どもの学習に関する事例分析を通して、授業形態の特質や選択の視点について考察することができる。 ・教職大学院でアクション・リサーチを行う上で必要な、基本的な理論や技法について理解する。	◎	◎		
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000430	子どもの姿と生徒指導の今日的課題	2	講義	・生徒指導の現状と課題を実際の子どもの姿から見つけ、共有する。 ・子どもの行為とその心理を理解する。 ・生徒指導の今日的課題への対応力を身につける。	◎	◎		
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000450	子ども理解と学校教育相談の在り方	2	講義	学校心理学の基本的な考え方を踏まえながら、従来からの教育心理学における発達、学習、人格・適応、集団といった諸領域の基礎知識を領域横断的に関連づけるとともに、それらの理論の深い理解に基づいて子どもの置かれている状況を捉える視点を獲得すること、そして心理教育的援助サービスの実践に必要な技法等を獲得することをこの授業の目標とする。	◎	◎		
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000470	学級経営の実践と課題	2	講義	学級経営の現状や今日的課題について整理し、今必要な学級経営の姿に向けての実践力を身につける。	◎	◎	◎	
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000110	学校経営の実践と課題	2	講義	今後の社会変化を念頭におき、今後の学校づくりはどのような視点から行われるべきか、そのリーダーシップのあり方について基本的な考え方を身につける。	◎	◎	◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000130	学校と地域の協働	2	講義	<p>■現職教員：地域と学校を結ぶコーディネーターとして成長する</p> <p>①「時代の変化に伴う学校と地域の在り方」について理解を深めます。</p> <p>②「学校を支援する地域の人・組織の学び」という視点を養うことをめざします。</p> <p>③「子どもを真ん中において」教員と地域のおとなが協働（連携・協力）していく際に必要な力量を身につけることをめざします。</p> <p>■ストレートマスター：授業などで地域と連携できる教員として成長する</p> <p>①学校と地域の協働（連携・協力）の実態を把握し、理解することをめざします。</p> <p>②「時代の変化に伴う学校と地域の在り方」について理解を深めます。</p> <p>③「児童・生徒につけさせたい力」との関連で、学校と地域の協働（連携・協力）の必要性を理解することをめざします。</p>	◎	◎	
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000495	教職実践研究方法論	2	講義	<p>1. 教職キャリアをデザインすることができるようになる。</p> <p>2. アクションリサーチの基礎的な技法を使うことができるようになる。</p> <p>3. 学習を深くふり返ることができるようになる。</p> <p>4. 分かりやすく伝えることができるようになる。</p>	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	共通科目			必修		35000515	特別支援教育のシステムと方法	2	講義	<p>①特別支援教育の制度や仕組みに関する基本的な事項を理解する。</p> <p>②特別支援学校や特別支援学級、通級による指導の制度や対象とする児童生徒、教育の実践について理解する。</p> <p>③インクルーシブ教育システムや合理的配慮など特別支援教育に関わる今日的な課題について理解する。</p> <p>④発達障害のある児童生徒に関する理解を深め、具体的な支援方法を知る。</p>	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	学校組織開発領域科目		選択		35000530	教育政策の流れと学校論	2	講義	教育政策の流れを理解するとともに、学校経営を行う際に留意すべき内容を把握する。具体的には、近年の国及び静岡県の教育政策の形成のプロセスをおさえ、今後求められる学校経営の方向性を考察する力を養う。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	学校組織開発領域科目		選択		35000150	学校の危機管理の実践と課題	2	講義	学校の危機管理の課題解決に向けて、教育法規を意識しながら、高度な実践力と課題解決力を身に付ける。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	選択科目	学校組織開発領域科目		選択		35000560	学校を動かすミドルリーダーの在り方と実践	2	講義	学校運営の要となる主幹教諭や各種主任といったミドルリーダーの在り方や実践について理解する。今後の学校の環境変化とリーダーに期待される役割を念頭に、今後の学校におけるリーダーシップの発揮について理論的・実践的に検討を深める。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	学校組織開発領域科目		選択		35000570	成人の学習の事例と理論	2	講義	<p>1. 教員として以下①～③を願っての「実践」に取り組んでいく上で必要な力量を形成するとともに、こうした実践を支える理論を理解する。</p> <p>①みずから「学び続ける教員」であり続ける、同僚が「学び続ける教員」であることを支える。</p> <p>②「個人実践家」ではなく、「学びあうコミュニティを培う実践家」となる。</p> <p>③「学校における組織力の向上」や「学校と地域の連携」に、スクールリーダーとして取り組んでいく。</p> <p>2. 研究のあり方を問い直し、「実践者であり研究者である教師」になるために、省察的実践研究への理解を形成していく。</p> <p>3. 実践を「書く」（記録化する）ことを通して、自らの実践の価値を確認するとともに、その価値が人に伝わるような「書く力」を形成していく。</p>	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	学校組織開発領域科目		選択		35000590	特色あるカリキュラム・マネジメントの実践	2	講義	<p>新学習指導要領の目玉の一つであるカリキュラムマネジメント論は、学的には、学校改善論も踏まえつつ、教育方法学と教育経営学をカリキュラム学で融合する研究領域に立脚する。</p> <p>一方、実践的には、1次円（子ども）2次円（教職員・学校内組織）3次円（地域/保護者・学校外）の枠組みで理解することができ、リーダーシップ・組織文化/組織構造を中心とする校内研修（Lesson Study）等の組織システムが典型的な構成要素となる。</p> <p>また、以上の観点をふまえ、幾つかの活用実践事例を理解する。</p>	◎	◎	◎

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
教育実践高度化専攻	選択科目	学校組織開発領域科目		選択		35000610	夢の学校づくり・学校改善への実践論	2	講義	現代日本の教育改革を、①歴史、②海外、の観点から複眼的に学んだ上で、各自自らの「夢の学校づくり」をイメージしたグランドデザインを作成する作業を通じて、これからの学校改善へ向けた実践力を身に付けることを目的とする。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	選択科目	学校組織開発領域科目		選択		35000620	学校組織開発課題研究	2	講義	領域別振り返りを中心に、研究成果報告書の内容を視野に入れた課題研究に取り組む。課題研究に関する基礎的研究方法を身に付けるとともに、テーマ設定、先行研究・先行事例の把握、テーマの背景にある教育政策等の動向、学校現場の現状等について精査し、課題研究の成果をまとめる。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	教育方法開発領域科目		選択		35000635	授業と学習の新たな展開	2	講義	授業計画に不可欠な構成要素と、構成要素間の関係を理解する。 学習指導要領に基づいて適切な学習目標を立てることができるようになる。 授業計画を効果的に分析・検討するためのチェックポイントを知る。 授業計画をスムーズに授業化するための工夫を理解する。 単元内容に研修テーマを反映し、授業に具体化する方法を学ぶ。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	教育方法開発領域科目		選択		35000235	授業分析と校内研修の新たな展開	2	講義	・校内研修のもつ今日的意義や普遍的価値について理解する。 ・授業改善を基盤とする校内研修におけるテーマ設定・方法論・推進体制・評価方法等の方略について学ぶ。 ・事例検討から在任校の校内研修の状況を相対化し改善策を立案することができる。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	教育方法開発領域科目		選択		35000195	学校に応じた教育実践の評価	2	講義	・2年次で各学校において取り組んでいるアクションリサーチについて、収集したデータを整理・分析し、検討を通して深めていく。 ・成果報告書作成へ向け、文書構成、論点の明確化を図っていく。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	教育方法開発領域科目		選択		35000660	授業デザインとその開発・評価	2	講義	・次期学習指導要領のキーワードの一つ、授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」について、その理論的背景と、それを実践するための授業デザインについて、実践を通して理解する。 ・2年次にそれぞれの実習先で取り組もうとするアクション・リサーチを、どのように実践していくかについて探究していく。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	教育方法開発領域科目		選択		35000675	教材作成と授業形態	2	講義	教材とその作成について理論的な理解を得るとともに、様々な教授方法における教材の事例を検討することを通して、教材とその作成の実際を理解する。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	教育方法開発領域科目		選択		35000695	学校に応じた教育実践の開発	2	講義	・授業設計段階、授業実践過程における教師の意思決定の諸要素について理解を図る。 ・授業で学んだことをもとに連携協力校における実習等で授業における意思決定や授業方略について分析することができる。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	選択科目	教育方法開発領域科目		選択		35000705	教育方法開発課題研究	2	講義	2年次におけるアクションリサーチの構想、アクションリサーチの実際、アクションリサーチの評価を通して、原理・原則を抽出し整理していく。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	生徒指導支援領域科目		選択		35000710	子どもが苦戦する諸問題の理解と教師の対応	2	講義	いわゆる「生徒指導上の諸問題」のうちでとくに学校教育現場で的確な対応が求められる“子どもが苦戦する諸問題”についてより正確に理解・解釈し、学校教育教員としてより適切な支援策を企画・遂行する能力（課題理解・対応能力）の獲得・強化を目指す。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	生徒指導支援領域科目		選択		35000730	子ども同士の人間関係を作るグループアプロ	2	講義	学級・授業・部活動等での子ども同士の人間関係を、意図的につくっていく技法と理論を学ぶ。	◎	◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
教育実践高度化専攻	選択科目	生徒指導支援領域科目		選択		35000770	子どもが安心感を実感するための教師の関わり	2	講義	子どもの知的能力の育成者というよりも、子どもと周辺の他者との間の関係性構築の支援者としての教師の役割の側面に着目し、子どもが安心感や自他への信頼感をベースとして心地よい学校生活を過ごすことができることを目指した教師の関わりの在り方について考察するための理論的根拠を学ぶ。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	生徒指導支援領域科目		選択		35000790	教師が苦戦する諸問題への対応	2	講義	教師が苦戦する諸問題について、子どもの生活環境や教師の労働環境などの要因と、子ども、教師の個の理解を関連させて、課題に応じた対応の在り方について考察する。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	生徒指導支援領域科目		選択		35000810	子ども支援のための他者・他機関との関わり	2	講義	学校教育教員とは異なる専門的知識・技法や“問題”のとらえ方・視点を持つ校外専門機関と学校との間で、子ども支援を目的とする連携協力関係づくりを進めるために必要な知識を獲得する。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	生徒指導支援領域科目		選択		35000820	生徒指導支援課題研究	2	講義	2年次の「学校における実習」と実践的研究の取り組みに関して、各院生のプランニング、研究の推進、成果の可視化などを集团的に検討し、論理的に一貫した成果報告書を作成する。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	特別支援教育領域科目		選択		35000830	特別支援教育の現状と課題	2	講義	①特別支援教育の現状と課題について国や自治体の施策や各学校の取り組みを踏まえて分析し、討議によって理解を共有・深化させる。 ②特別支援教育を推進する上での基本的な仕組みについて理解し、自らの実践にひきつけながら今後の方向を考える。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	特別支援教育領域科目		選択		35000850	障害児の認知発達とその支援	2	講義	さまざまな領域の認知発達とそのアセスメントの方法について習得し、認知発達に応じた支援方法の理解を深める。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	特別支援教育領域科目		選択		35000910	特別支援教育における授業づくり	2	講義	特別な教育的ニーズのある児童生徒の確かな学力を育む授業づくりについて理解する。また、実際に授業を構成することを通して実践に向けての手掛かりをつかむ。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	特別支援教育領域科目		選択		35011210	特別支援教育コーディネーターの理論と実践	2	講義	特別支援教育コーディネーターの役割や実際の業務について理解する。特別な教育的ニーズのある児童生徒をチームで支援することや支援計画をたてるための知識や技能等を習得する。また、障害者差別解消法やインクルーシブ教育の理念をどのようにコーディネーターとして取り組んでいくかを考える。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	特別支援教育領域科目		選択		35000920	障害児臨床の視点と方法	2	講義	特別支援教育の実践では様々な障害種の子どもたちが持っている多様なニーズにこたえることが求められる。そのひとつには自立活動等を中心とした個別指導があるが、その実践は教員にとって多くの力量が求められることとなる。この授業では昨今の指導法などについてケース検討を通して学び、学校での実践に生かせるようにしていく。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	特別支援教育領域科目		選択		35011310	発達障害の理解と対応	2	講義	幼稚園、保育園、小中学校、高等学校、大学あたりの教育機関が行う特別支援教育について、その取り組みがこれから安定的にかつ創造的に進むことを目指して、その担い手となる先生たちに基盤的な力量の形成の機会を提供したい	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	特別支援教育領域科目		選択		35000925	特別支援教育課題研究	2	講義	領域別振り返りを中心に、研究成果報告書の内容を視野に入れた課題研究に取り組む。課題研究に関する基礎的研究方法を身に付けるとともに、テーマ設定、先行研究・先行事例の把握、テーマの背景にある教育政策等の動向、学校現場の現状等について精査し、課題研究の成果をまとめる。	◎	◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
教育実践高度化専攻	選択科目	領域横断科目		選択		35001110	教職キャリア基礎Ⅰ	2	講義	【学卒大学院生を対象】 ・生徒指導・教育相談・道徳教育・特別活動等について、初任者教員に必要な知識を得る。 ・教員としての心構えを養う。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	選択科目	領域横断科目		選択		35001130	教職キャリア基礎Ⅱ	2	講義	【ストレートマスターを対象】 ・初任者教員にとって必要な幅広い知識を得る。 ・教員としての心構えを養う。	◎	◎	
教育実践高度化専攻	実習科目			必修		35000940	基盤実習	3	実習	「共通科目」との往還を図りつつ、学校組織開発、教育方法開発、生徒指導支援及び特別支援教育各領域に関わる視点に基づいて、高度な実践的指導力形成の基礎となる知識・考え方を身に付ける。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	実習科目			選択		35000970	学校組織開発領域別実習	3	実習	基盤実習で修得した知識・技能を踏まえ、領域別実習として、教育課程・経営の専門領域に関する内容や「学校づくり」に関する内容を実習を通して身に付ける。連携協力校（実習校）における実習と教職大学院の授業との往還をつくりながら実施する。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	実習科目			選択		35000990	教育方法開発領域別実習	3	実習	前期に学んだ学力観・学習観や新たな学びの方法を、実習を通して実践することで、その内容を深く理解するとともに、授業化する力量をつける。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	実習科目			選択		35001010	生徒指導支援領域別実習	3	実習	前期の「基盤実習」に引き続き連携協力校の教育活動に定期的に参加し、学級担任や特別支援教育コーディネータ、生徒指導主事主任などの補助者役割を務めながら、子どもが安心感を持つことができる学級づくり、子どもの対人関係の改善、サポートを要する児童生徒の見立てと支援計画の策定、保護者や同僚、校外専門機関との連携などの在り方に関する具体的な体験に基づいて、学校における児童生徒の指導支援に関わる個別・具体的な活動計画を立案する力量を獲得する。 この過程を通して2年次の学校改善力実習における追究テーマ・課題意識を明確にする。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	実習科目			選択		35001030	特別支援教育領域別実習	3	実習	障害種別や障害程度に応じた教育課程の編成、一人ひとりの教育的ニーズに応える個別の指導計画・教育支援計画の作成、発達段階や個の状況に即した授業の改善、さらには、特別支援学校の地域におけるセンター的役割など、特別支援領域の固有の課題・テーマに関して現状の把握と課題の抽出を行い、それらに基づいてテーマ・課題に関する改善プランをまとめることができる。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	実習科目			選択		35001050	学校改善力育成実習	4	実習	それまでの科目履修で獲得した知識・技法をベースに、連携協力校・附属学校をフィールドとして、大学院生個々の追究テーマを定め、具体的計画を策定し、実践し、評価するというPDCAサイクル型の取組を経験することを通して、実習校の特色や個性に応じた学校改善の実践を経験し、新しい学校作りの担い手にふさわしい実践的指導力を身に付ける。	◎	◎	◎
教育実践高度化専攻	実習科目			選択		35001070	学校改善力高度化実習	4	実習	それまでの科目履修で獲得した知識・技法をベースに、連携協力校・附属学校をフィールドとして、大学院生個々の追究テーマを定め、具体的計画を策定し、実践し、評価するというPDCAサイクル型の取組を経験し、在籍校での実践やこれまでの教職経験とを比較検証し、複数事例から本質的事項や今後の実践のための手がかりを抽出することで、スクールリーダーにふさわしい高度な実践的指導力を身に付ける。	◎	◎	◎